

# 教師のICT活用指導力の向上について

令和3年3月 義務教育課

パソコンやタブレット等の端末が導入されたら、**「使いながら学ぶ」というスタンスで、まずは以下のような使い方を試してみましょう。**

令和2年度ICT活用促進プロジェクトの13モデル校においても、**トライ&エラーによるICT活用**が進められています。

▶ 端末や大型提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。



【中学校・社会】生徒がまとめた考えを提示し、本時の学習内容について確認する。



【中学校・数学】小テストの結果、正答率の低い問題について、全体で説明する。

▶ 端末や大型提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。



【小学校・算数】児童が考えたことを、大型提示装置で共有し、教師が比較しながら解説していく。



【中学校・理科】生徒がホタテの体のつくりについて画像を用いてまとめたものを共有する。

児童生徒の意見を提示した後、**どのように深めていくかがポイント**です。

▶ 協働してレポート・資料・作品などを制作するなどの学習の際に、児童生徒に端末やソフトウェアなどを効果的に活用させる。



【小学校・生活科】生活科で作成した「うごくわたしのおもちゃ」をプレゼンする。

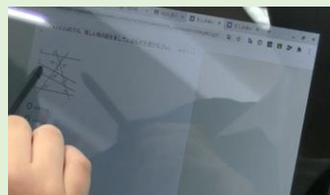


【中学校・国語】グループで協議した内容を文字入力し、意見を集約したり整理したりする。

▶ 学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに組みこませる。



【小学校・算数】ドリル問題の回答を互いに説明しあい、本日の学習の振り返りとする。



【中学校・数学】自作テストを使用し各自の授業の復習を行う。回答状況は児童で集計される。

まずは端末を使って、**振り返りを記録・集積**させることから始めましょう。

